

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月3日(土)

会場 日立第一高等学校体育館

【男子の部】 第2日目 Cコート 第4試合

チームA 府立泉北 大阪	68	{ 21 1Q 28 15 2Q 32 12 3Q 33 20 4Q 23 OT	116	チームB 福岡大学附属大濠 福岡
--------------------	----	---	-----	------------------------

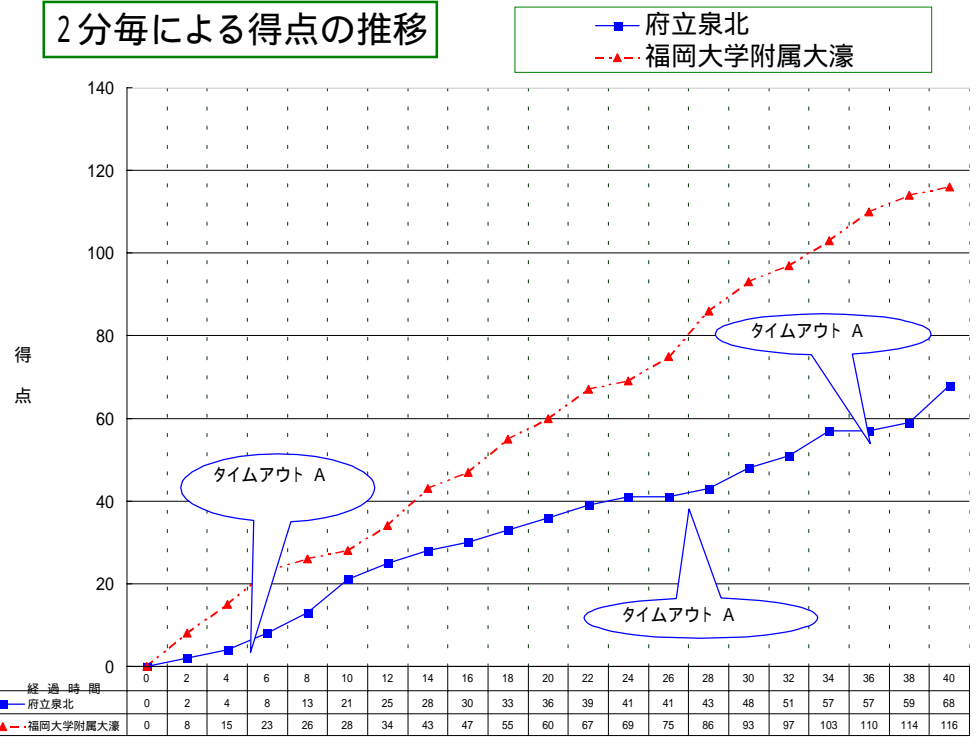
府立泉北

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山本 和樹	22	4	9	5	14	0	1	3	0	5	9	2	1	0	40
5	井上 優司	19	5	15	2	5	0	0	3	0	4	5	1	3	0	40
6	田中 康太															DNP
7	青天目健太	8	0	2	4	9	0	0	3	0	2	5	2	4	2	40
8	竹内 佑	16	0	0	7	14	2	5	4	1	9	1	1	1	2	40
9	柴田 享祐															DNP
10	原 浩平															DNP
11	安間 大貴	3	0	0	1	9	1	2	3	1	2	5	0	0	0	40
12	水津 忠															DNP
13	小寺 悠司															DNP
14	中山 隼平															DNP
15	谷川 智之															DNP
コーチ	西川 覚								0							
		68	9	26	19	51	3	8	16	2	22	25	6	9	4	200
		確率	34.6%		37.3%		37.5%				計 24					

福岡大学附属大濠

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	酒井 泰滋	25	1	4	10	16	2	2	1	4	5	2	3	2	1	33
5	松本 怜	33	3	13	12	17	0	0	1	0	0	2	1	7	0	36
6	阿部 勇氣	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	7
7	田上 順一	32	0	0	14	22	4	5	1	2	2	0	4	0	5	37
8	清水 青磁	0	0	0	0	3	0	0	0	2	1	1	0	0	0	3
9	寒竹 隼人	4	0	0	2	6	0	0	4	4	3	0	2	2	1	30
10	岡田 大地															DNP
11	児嶋 修平	5	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	7
12	竹野 明倫	14	2	5	3	8	2	2	1	1	6	2	6	4	0	33
13	堤 啓士朗	2	0	1	1	1	0	0	3	0	0	1	2	0	0	4
14	山下 泰弘	1	0	1	0	2	1	2	1	0	2	2	0	0	1	10
15	福田進之助															DNP
コーチ	田中 国明								0							
		116	7	25	43	76	9	11	14	13	20	11	19	16	9	200
		確率	28.0%		56.6%		81.8%				計 33					

2分毎による得点の推移



戦評

昨年の準優勝校、福大大濠が緒戦のプレッシャーを感じさせない豪快な試合運びで3回戦進出を決めた。

第1P、福大大濠は#5松本、#12竹野の速攻と#7田上のポストプレイで開始直後より得点を伸ばし、守ってはオールコートマンツーマンで泉北オフェンスの封じ込めをはかった。5分、福大大濠に17-4とリードを許した時点で泉北がタイムアウト。その後、ややペースが落ち、凡ミスが出始めた福大大濠に対し、泉北は厳しいディフェンスに苦しみながらも#5井上の3Pなどで7点差まで追いつき、このピリオドを終えた。

第2P、福大大濠はインサイドで圧倒的な強さを見せる#7田上にボールを集め、終了時には60-36とリードを広げた。

第3Pも福大大濠の勢いは止まらず、アシストにも冴えを見せる#5松本のドライブインや3Pなどでさらに加点した。泉北はタイムアウトを請求し、オールコートマンツーマンで追撃しようとするが、逆に福大大濠ディフェンスにスティールからの連続速攻を許し、93-48と福大大濠の大量リードで終わった。

第4Pに入っても福大大濠は攻撃の手を緩めず、泉北も#4山本を中心に気迫に満ちたプレイを最後まで見せたが、116-68と福大大濠の圧倒で幕を閉じた。

主審 小澤勤

副審 渡部智聡

記入者 中山幸昭